

一緒に考えませんか？公共施設のこれからを／

石山・東石山地域のまちづくり

<発行者>石山・東石山地域実行計画コミュニケーション事務局 令和6年11月発行
(問い合わせ:東区地域課:☎025-250-2120 財務部財産活用課:☎025-226-2387)

市では、今後必要な施設の役割を考え、将来世代に過度な負担とならないようにサービス機能をできるだけ維持しながら、公共施設の総量削減を行う計画の策定を進めています。

石山・東石山地域では、地域の活動拠点となる石山地区センターが大規模な改修の目安となる築40年を超えていることや越後石山駅周辺の整備が予定されている中、地域のみなさんと市がともに地域の身近な公共施設についての今後のあり方を考えています。本紙では9月に実施したワークショップ(WS)で検討された「再配置案を評価・比較するための評価項目」と「再配置案」に関するご意見を紹介します。

石山・東石山地域の公共施設のあり方について検討を進めています



図-石山・東石山地域実行計画策定までの検討手法と流れ

第3回WSでは再配置案のたたき台や評価項目について検討



第3回WSの様子

9月7日に実施したWSでは、「再配置案を比較する際の評価項目は十分か」、「再配置案について期待することや留意すべきこと、新たな再配置案の提案があるか」の2つのテーマについて話し合いました。

WS配付資料は市ホームページ(下の二次元コード)に掲載しています。ご覧いただき、地域のみなさんもぜひご意見をお寄せください。(ご意見の提出方法は6ページをご覧ください)

第3回WSの概要

日時

令和6年9月7日(土) 午後1時30分～4時30分

参加者数

33人

会場

石山地区公民館

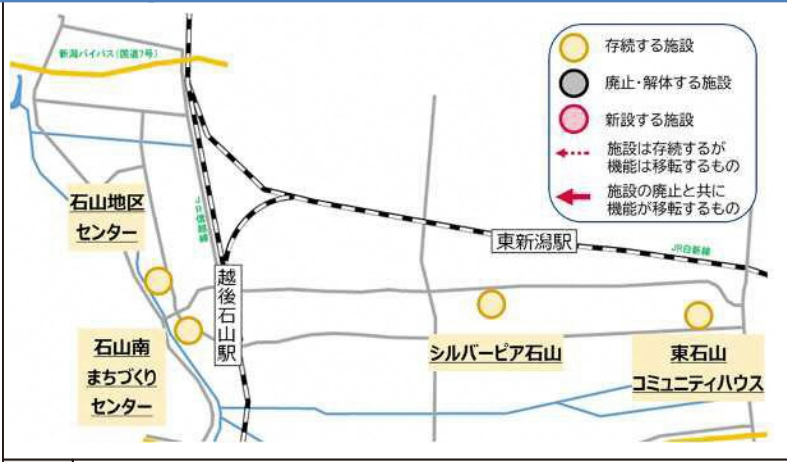
新潟市HP

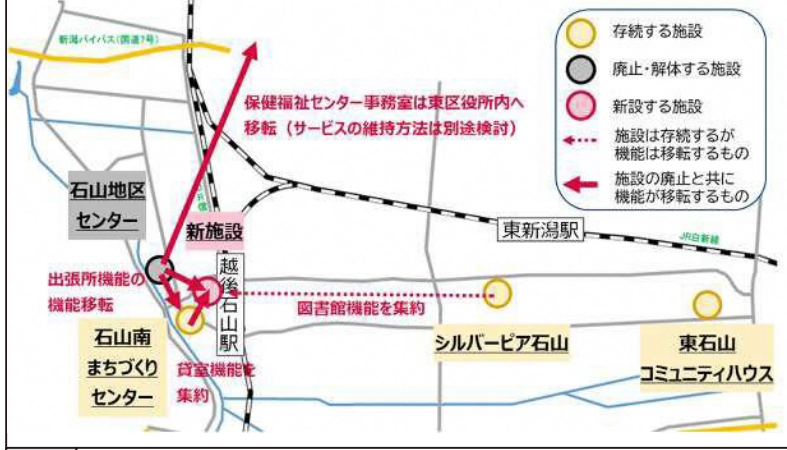


東区応援団長
「めたりん」

再配置案のたたき台と各案に対する意見

第3回WSでは、これまでの話し合いを踏まえ、課題解決のアイデアを整理して作成した再配置案の良いところ、気になるところ、追加してほしいところ、新たな提案について話し合いました。

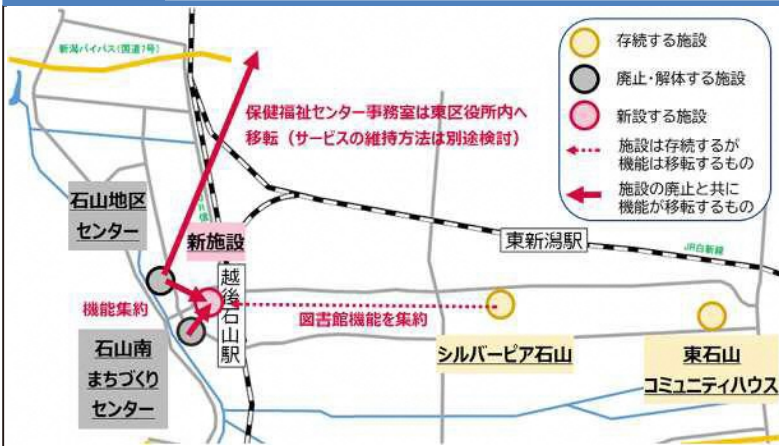
<h2>案Ⅰ</h2>	<h3>現状維持</h3>	 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>案の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 各施設を存続させ、施設配置を維持。 シルバーピア石山の風呂機能は、補修困難になったら廃止。 </div> <div style="width: 45%; text-align: right;"> <p>案の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 各施設を存続させるため、これまでと変わらず施設を利用することができる。 築年数の比較的長い施設も存続となるため、当該施設の更新時に改めて再編の方向性を検討する必要がある。 財政負担が軽減されない。 地域の課題解決(学習スペースの設置など)のため、シルバーピア石山の廃止される浴室スペースを有効活用できるが、既存施設の改修となるため制約がある。 </div> </div>
<p>特徴</p>		
<p>意見</p>		<ul style="list-style-type: none"> 財政負担の軽減は、利用方法の見直しなどで可能だと思うので、現状を維持できるこの案が良い。 財政面や建物の安全性を考えると現状維持は現実的に厳しいと感じる。 案の特徴を読むとデメリットが多く書かれているので、再編ありきと感じる。もっと前向きな言い方ができないのか。

<h2>案Ⅱ</h2>	<h3>越後石山駅前に多機能拠点整備(石山南まちセン活用・石山地区センター廃止)</h3> <p>新施設と石山南まちセンを組み合わせると駅前機能を集約し、多世代が集える多機能拠点をつくる案</p>	 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>案の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 石山地区センターを廃止し、越後石山駅前に新施設を設置。図書館及び貸室機能を集約。 園芸センター記念公園の一部を活用。 石山南まちづくりセンターは出張所に用途変更。 新施設及びシルバーピア石山に、学習スペースやフリースペースを整備。 新施設に公民館のホールと同程度の貸室を整備。 シルバーピア石山の風呂機能は、補修困難になったら廃止。 地域保健福祉センター事務室は、区役所内へ集約。 </div> <div style="width: 45%; text-align: right;"> <p>案の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 越後石山駅前に、施設が新規整備され、駅を利用する若い世代も使いやすくなる。 新施設は、現状の貸室の利用状況に配慮しながら、複数のサービスを集約し、機能の向上を図り、効率的に施設を活用。利便性の向上と施設面積の削減(財政負担の軽減)につなげる。 比較的改修間もない石山南まちづくりセンターを有効活用できる。 </div> </div>
<p>特徴</p>		
<p>意見</p>		<ul style="list-style-type: none"> 出張所機能を石山南まちづくりセンターに移す場合、今の石山南まちづくりセンターのスペースで足りるのか心配だ。 出張所とコミュニティ系の施設が分散するため、年配者で不便を感じる人もいると思う。

案Ⅲ

越後石山駅前に多機能拠点整備(石山南まちセン及び石山地区センター廃止)

駅前の新施設に機能を集約し、施設数を削減しながら多世代が集える多機能拠点をつくる案



案の概要

- 石山地区センター、石山南まちづくりセンターを廃止し、越後石山駅前に新施設を設置。図書館及び貸室を集約、出張所機能を移転。
- 園芸センター記念公園の一部を活用。
- 新施設及びシルバーピア石山に、学習スペースやフリースペースを整備。
- 新施設に公民館のホールと同程度の貸室を整備。
- シルバーピア石山の風呂機能は、補修困難になったら廃止。
- 地域保健福祉センター事務室は、区役所内へ集約。

特徴

- 越後石山駅前に、施設が新規整備され、駅を利用する若い世代も使いやすくなる。
- 石山南まちづくりセンター跡地を駐車場として活用できる。
- 新施設は、現状の貸室の利用状況に配慮しながら、複数のサービスを集約し、機能の向上を図り、効率的に施設を活用。利便性の向上と施設面積の削減(財政負担の軽減)につなげる。

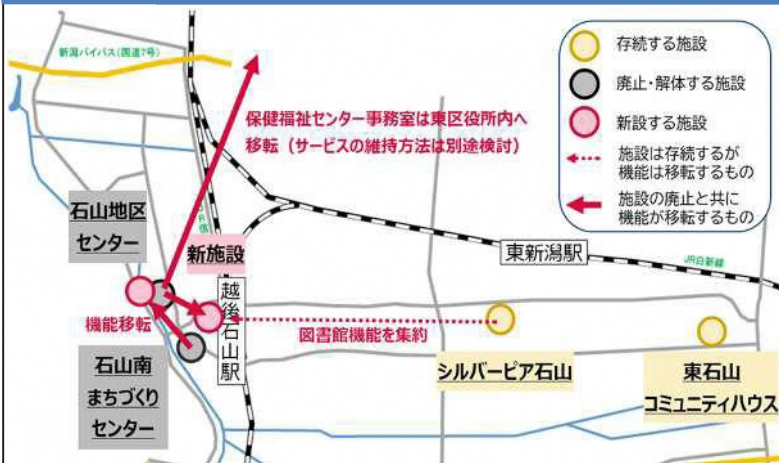
意見

- 新施設に石山地区センターと石山南まちづくりセンターの機能が集約されて便利になり、維持費の削減につながる。
- 石山地区センター跡地を売却することができれば、財政負担の軽減に最も効果がある案だと思う。
- 新施設に出張所とコミュニティ系の施設が一緒になり、行き来しやすく便利だと思う。
- 石山南まちづくりセンター跡地を駐車場にできれば、駐車スペースが確保できて良い。
- 駐車場のスペースが十分にとれるか、コミュニティバスなどを走らせた時にバスが入ることができるか等の心配がある。
- 新施設に機能が集約されることで、災害時に人が集まりすぎてパンクしてしまうのではないかと心配だ。
- 現状では駐車場が少ないので、きちんと駐車場を確保して欲しい。
- 新施設に多くの機能が集約されるが、駅周辺は道が狭いので混雑したり事故が多くならないかと心配だ。周辺の道路整備も合わせて検討できると良い。

案Ⅳ

越後石山駅前に多機能拠点整備&石山地区センター跡地を活用し新施設整備

施設配置を維持しながら、駅前に多世代が集える多機能拠点をつくる案



案の概要

- 石山地区センター、石山南まちづくりセンターを廃止し、越後石山駅前に新施設を設置。図書館を集約、貸室及び出張所機能を移転。
- 園芸センター記念公園の一部を活用。
- 石山地区センターの解体後、跡地にコミュニティセンターを新設。(石山南まちづくりセンターと同規模程度)
- 駅前の新施設及びシルバーピア石山に、学習スペースやフリースペースを整備。
- 新施設に、公民館のホールと同程度の貸室を整備
- シルバーピア石山の風呂機能は、補修困難になったら廃止。
- 地域保健福祉センター事務室は、区役所内へ集約。

特徴

- 地域内のコミュニティ施設の数および配置が現状のまま維持される。
- 新施設は、現状の貸室の利用状況に配慮しながら、機能の向上を図り、効率的に施設を活用しながら、利便性の向上と施設面積の削減(財政負担の軽減)につなげる。
- 施設数は変わらないため、施設面積が削減されても財政負担の軽減効果は薄い。

意見

- 駅の利用と合わせて、新施設の利用者が増える可能性はある。
- 新施設を2つ建設すると建設費も維持費も負担が大きく、コスト削減には繋がらないのではないかと。
- 石山南まちづくりセンターの機能が、石山地区センターの跡地に移転するとあるが、コミュニティ協議会の事務室や活動場所も移転することになるとしたら、これまで石山南まちづくりセンターを利用して活動してきた人達は不便になる。
- 駅前にできる新施設の駐車場はどこに設けるのか。駐車場がないと利用者にとって不便なので、施設を新設する場合の付帯条件としてほしい。

案Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの共通意見

意見

<案Ⅱ・Ⅲ共通>

- ・駅に近いので、通学、通勤で駅を利用する若い世代が使用して活気づくと思う。他の世代の利用者も増えてくるのではないか。
- ・石山南まちづくりセンターと石山地区公民館を集約して図書館なども入ると、スペースは十分にあるのか。コミュニティ施設の部屋数が足りず、利用者があふれて予約が取れないのではと心配だ。

<案Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ共通>

- ・越後石山駅に近いので利便性が高まり、通勤、通学の際に利用しやすい。交番ができれば安全性も高まるので、多機能施設を新設するのに良い立地だと思う。
- ・図書館機能が集約されると使い勝手が良くなる。蔵書を増やすなどして充実させ、多くの利用者に使われる、活気ある図書館になると良い。
- ・現状では駅周辺にコンビニがないが、新施設に設置できないか。お弁当が買えたりして、学生や親にとって利便性が高くなるのでは。
- ・石山南まちづくりセンターの跡地に駐車場が確保できると思うので、駐車場の課題にも対応できると思う。※案Ⅱを除く
- ・いずれの案でも石山地区センターが廃止されるが、近隣区民も利用している施設なので、この地域だけで廃止を決めても良いのだろうか。移転するだけの合理的な理由がないと理解が得られないのではないかな。
- ・駐車スペースが十分にとれるのか。駅前の施設だと、施設利用以外の目的で無断駐車する人が出てくることも心配だ。
- ・園芸センター記念公園の一部を活用とあるが、貴重な屋外の緑のスペースであり日常的に利用している子どももいるので、交流の場として使えるくらいは残してほしい。
- ・越後石山駅の東側の人が新施設を利用しやすいように、新施設まで区バスが通るようにしてほしい。

案Ⅴ

地域を中心に多機能集約(シルバーピア石山へ出張所機能を移転)

地域全体からの行政サービスへのアクセス性を向上させながら、駅前に多世代の集える施設をつくる案



案の概要

- ・石山、東石山地域の中央寄りに位置するシルバーピア石山に行政サービス機能を移転、図書館を集約。
- ・石山地区センター・石山南まちづくりセンターを廃止し、越後石山駅前に新施設を設置。貸室の集約及び学習スペースやフリースペースを整備。
- ・園芸センター記念公園の一部を活用。
- ・新施設に、公民館のホールと同程度の貸室を整備
- ・シルバーピア石山の風呂機能は、補修困難になったら廃止。
- ・地域保健福祉センター事務室は、区役所内へ集約。

特徴

- ・石山、東石山地域の中央寄りに位置するシルバーピア石山に行政サービス機能(出張所・図書館・貸室)が集約される。
※ただし、貸室の削減が必要
- ・出張所移転による利用者増で駐車場が足りなくなる可能性がある。
- ・新施設は、現状の貸室の利用状況に配慮しながら、貸室機能の集約と機能の向上を図り、効率的に施設を活用しながら、利便性の向上と施設面積の削減(財政負担の軽減)につなげる。
※仮に上記課題に対応した整備を行う場合は、コストが増加するため、効果は薄くなる(または、なくなる)

意見

- ・シルバーピア石山は地域を中心に位置していると思う。将来的に見ても立地が良いので活用しやすいのではないかな。
- ・シルバーピア石山に行政サービス機能を集約すると、これまで石山地区センターを利用していた人にとって遠くなり、かなり不便になると思う。
- ・シルバーピア石山は施設が古く、リニューアルして使う価値があるのか疑問だ。リニューアルしてもすぐに耐久年数の問題が出てきて、建て替えのことを考えなくてはいけなくなるのは避けたい。
- ・行政サービスや図書館を集約するには、シルバーピア石山は床面積が足りない。既存の貸館機能などの各機能が縮小されて使いづらくなってしまわないかな。
- ・施設周辺の道路が狭く、通りづらい。バスが通るルートからも離れているため、バス利用者にとっても不便だ。
- ・シルバーピア石山は駐車場が少ないため、機能を集約して利用者が増えると駐車場が足りなくなると思う。行政サービス機能が低下するのではないかな。



WSの当日は、これまでのみなさんの意見を基に作られた再編案に対して、「期待すること」や「懸念されること」などたくさんの意見が出され、活発なグループワークとなりました！

- ・将来を考えると、古い施設を使い続けるよりも、新しい施設を建てた方が良い。
- ・現状維持案以外は、越後石山駅の近くに新施設ができるので、人が集まりやすく活気づくと思う。コンビニやカフェなども併設して、買い物やゆっくり過ごすことができる場にしてほしい。
- ・これまでは石山地区センターで様々な用事をワンストップで済ませられたが、保健福祉センターが移転されるとできなくなってしまう。
- ・江南地域の住民にとっては、石山地区センターが地域にあるのは当たり前のことになっており、この施設があるから江南を選択して住むことにした人もいることを考慮してもらいたい。
- ・出張所は現状でも混んでいるので、機能が移転したことで狭くならない様にしてほしい。
- ・出張所など中央区の住民も使っている機能は、移転後も利用できるような配慮が必要だ。石山、東石山地域の住民も他区の施設を使って良いのだから、周辺の区の施設も含めて施設配置を考えてはどうか。
- ・保健福祉センターが移転しても、センターで行っている健診や相談などの機能は地域内に残してほしい。
- ・機能を集約する施設は、水害や地震に強い立地に建ててほしい。
- ・石山地区公民館は耐震工事をやっているのだから、廃止するより使い続ける方が良い。改修費が無駄になる。
- ・公共施設を再配置する時の条件として、利用者数に対応できる広さの駐車場を設置することを入れてほしい。
- ・体を動かす空間はどの案になっても確保してほしい。
- ・何年先までを見据えた再配置案になっているか知りたい。10年後になって新たな問題が発生し、また検討することになっては困る。
- ・最初は戸惑うかもしれないが、移転してしまえば徐々にその状況に慣れていくと思う。
- ・コスト削減を重視すると市有地を活用した案に絞られてしまう。これまでのワークショップで、新しく土地を購入してはどうかというアイデアも出たのに反映されていない。

<新たな提案>

- ・コストを下げるのなら現状の施設を残し、改修して長寿命化するという考え方もあるはずなのに、そういう案がない。
- ・コストを考えて公有地を対象とした配置案になっているのだろうが、これまでのワークショップで出されていた新しく土地を購入して施設を建てる案も比較検討してほしい。
- ・石山地区センターの場所に新しい多機能拠点施設をつくる案は考えられないのか。
- ・シルバーピア石山だけでは機能集約するのに狭いので、市営住宅の空いている棟(または敷地)を活用してはどうか。

課題解決の狙いと評価項目(案)の設定に対する意見

第3回WSでは、再配置案を評価するための評価項目(案)に対し、地域のみなさんが公共施設に求めていることを評価できる項目になっているか、追加してほしい項目がないか話し合いました。今回の第3回WSでみなさんからいただいた意見を基に、評価項目(案)を修正して、第4回WSでは再配置案を評価していきます。

課題解決の狙い	評価項目
①過度な財政負担が将来世代に残らない	・ コスト(30年間)を削減できるか
②アクセスしやすい公共施設配置とする	・ 地域内のどの場所からも公共施設へのアクセスが良いか ・ 多様な交通手段でアクセスが可能か
③施設機能が集約されている	・ 1つの施設、またはその周辺に機能が集約されているか
④体を動かせる屋内スペースを維持する	・ 運動ができる屋内スペースが確保されるか ・ 多目的に利用できるスペースがあるか
⑤多世代が集いやすい場所を拡充する	・ バリアフリーは十分か ・ 若者(学生)が利用しやすい機能(学習室・フリースペース・運動場所)を有しているか ・ 若者(学生)が集まるスペースや施設が確保されるか
⑥石山、東石山地域の中央に行政サービス(図書館、出張所)を含む地域拠点をつくる	・ 石山、東石山地域の中央に図書館、出張所機能が集約された施設があるか
⑦諸室を利用した活動ができる	・ 再編後も同じように諸室を利用した活動ができるか

評価の視点

<全体>

- 民間企業とは異なり、行政はコスト面や利用人数だけで施設の存続を判断せず、施設やエリアを救うことを考えなくてはならないと思う。
- 現状のサービスは維持できることを前提にしたいので、「現状のサービスを維持できるか」を評価項目もしくは前提条件として最初に文章を入れてもらいたい。
- コストの削減には支出を抑えるというだけでなく、利用料などで収益を生み出し、その結果プラスマイナスで支出を減らす視点も重要ではないか。
- 評価軸が「維持管理コスト」になっているが、維持管理だけでなく、施設を新設する場合の建設費、解体費、改築する場合の改築費等も評価する必要がある。それらの費用も入ることが明確に伝わる表記をしてほしい。
- 「コスト(30年間)を削減できるか」を評価するとあるが、30年間で考える根拠が伝わる書き方にしてほしい。
- 現状の施設を維持した上で、「空き部屋の活用等の利用方法の工夫により財政負担を減らす」という視点からも案を評価してほしい。

<アクセス性>

- 施設の再編によってこれまでより施設が遠くなってしまう人もあるので、アクセスの視点は大事だ。
- 駐車場の設置に限界があるのだとしたら、コミュニティバスなどの多様な交通手段があるかは重要な評価項目になると思う。
- アクセス性を将来的な計画も踏まえて評価するのか、現状で評価するのかを知りたい。例えば、石山南まちづくりセンター近くにバス停設置の計画があるが、そういった計画も前提として評価するのか。計画によっては実現性が高いものと低いものがあるので、それも加味しなくてはならず、評価するのが難しいのではないかな。
- 施設をどの場所に建てるかに着目するのではなく、「行きやすさ」を評価するのは良い。高齢になればいずれは自力で行くことができなくなるので、距離ではなく移動手段が重要になる。サテライト化やデジタル化とのバランスも考える必要がある。

<運動が出来る場所>

- 「運動ができる室内スペース」というのは、誰が使い、どれくらいの広さのスペースと考えて評価するのか。
- 運動ができるスペースは、運動だけだと機能として必要だという説得力に欠けるが、有事には避難所としても活用できる場所と考えれば、理解を得られやすいと思う。

<多世代が集う場所>

- 現状の公共施設の使われ方を見ると、これから新しく施設をつくる際には「多世代が交流できる」や「学習室の充実」という視点が大切だと思う。
- 若者が集まってくるようなテーマ性のあるスペースを作れるかという視点が必要ではないか。例えば、東区役所には複合型の子ども食堂ができ、eスポーツを体験できるスペースもあるそうだ。
- 施設に来てからのバリアフリーだけでなく、施設までのバリアフリーなアクセスを確保できることも重要だ。そこまで考えて、本当の意味でのバリアフリーだと思う。

<中央に行政サービス拠点>

- 「中央」というが、石山、東石山地域は四角ではなくL字型なので、どこが中心なのかが判断しづらいと思う。
- 地図上で地域の中央に位置するのはシルバーピア石山なので、この評価項目ではV字しか評価されないのではないかな。シルバーピア石山に機能集約するような書き方がされていて違和感を持った。

<貸室機能の維持>

- 再編後も今と同じ様に活動ができた方が良いので、この視点は大事だと思う。
- 施設再編によって新規の利用者が増える可能性がある。現状ではその数を想定できないので、部屋数が確保できるかの判断は難しいのではないかな。

追加してほしい項目・課題

<アクセス性>

- 駐車場が狭いと利用しづらいので、駐車スペースが十分に確保できるかという評価項目が必要だと思う。
- 記載されている評価項目の表現が分かりづらい。「駐車スペースが確保できるか」、「区バスの利用はできるか」といったより具体的な内容を入れてほしい。

<多世代が集う場所>

- 多世代の中で、若者(学生)については明記されているが、乳幼児、小学生の居場所や高齢者のことに触れられていないのが気になる。
- 1つの部屋を1日中フルに使えれば部屋の稼働率を高めることができるので、部屋の有効活用の視点があっても良い。

<課題>

- 石山・東石山地域は地盤が低く水害が心配なので、水害や地震に強い安全な立地や各地域から車が使えなくてもアクセスの良い施設配置になっているか等、防災の視点からも評価してほしい。
- シルバーピア石山の老人憩いのフロアは災害時に活用できる貴重な機能を持っているので、避難所として対応できる機能はあるか、「災害に強い施設か」も評価項目に入れてほしい。
- 再配置を考える上で機能の維持も大事だが、スペースが縮小されてしまうと十分に機能を果たせなくなる。各機能に必要な広さが確保できているかも評価してほしい。
- 民間活用を考えていく必要があると思うので、その可能性があるかも評価してほしい。
- 今回の再編対象施設以外の石山・東石山地域の公共施設の事業計画を踏まえた配置計画となっているかを評価軸や評価項目に入れた方がわかりやすい。例えば、学校の空き教室や駐車場の活用などの学校活用の可能性も視点に入れてはどうか。
- 将来を担うのは若者だから、若者が訪れやすい、使用しやすい施設かなど、若者のためになる評価項目があると良い。

みなさんからのご意見・アイデアをお待ちしてま〜す

募集中!



みなさんのご意見やアイデアをお寄せください

第3回WSでは、これまでの意見から作成された再配置案とその案を評価・比較するための評価項目について話し合いました。ぜひ、みなさんもお意見やアイデアをお寄せください。

いただいたご意見等は、今後の検討に反映させます。

<ご意見はこちらまで>

石山・東石山地域実行計画コミュニケーション事務局(東区地域課内)

郵便 〒950-8709

東区役所地域課企画・地域振興グループあて(住所不要)

FAX 025-271-8131

電子申請 新潟市オンライン申請システム
「e-NIIGATA」(右の二次元コード)

